

## 4日 土曜

### 箴言

11:16 優しい女は誉れをつかみ、横暴な者は富をつかむ。  
11:17 誠実な人は自分のたましいに報いを得るが、残忍な者は自分の身にわざわいをもたらす。  
11:18 悪しき者は偽りの報酬を得るが、義を蒔く者は確かな賃金を得る。  
11:19 実に、義を追い求める者はいのちに至り、悪を追い求める者は死に至る。  
11:20 心の曲がった者は【主】に忌み嫌われ、まっすぐな道を歩む者は主に喜ばれる。  
11:21 悪人が罰を免れることは決してない。正しい人の裔は救いを得る。  
11:22 豚の鼻にある金の輪。美しいが、たしなみのない女。  
11:23 正しい人の願いは、ただ良いこと。悪しき者の望みは、激しい怒り。  
11:24 気前よく施して、なお富む人があり、正当な支払いを惜しんで、かえって乏しくなる者がある。  
11:25 おおらかな人は豊かにされ、他人を潤す人は自分も潤される。  
11:26 穀物を売り惜しむ者を民は呪う。しかし、それを売る者の頭には祝福がある。  
11:27 熱心に善を求める者は恵みを慕い求める。悪を求める者には悪が来る。  
11:28 自分の富に抛り頼む者は倒れ、正しい人は若葉のように芽を出す。  
11:29 自分の家族にわざわいをもたらす者は、風を相続し、愚か者は、心に知恵のある者のしもべとなる。  
11:30 正しい人の結ぶ実はいのちの木。知恵のある者は人の心をとらえる。



11:31 正しい人が地で報いを受けるなら、悪しき者や罪人はなおさらのこと。

16節は解釈が難しいですが…横暴な者は富のような消えるモノしか手に入れられないが、優しい人はそれが女性のように弱い立場であったとしても、誉れという決して消えない価値を手に入れることができるのだ…という意味に解釈されます。

ここでは富には価値が置かれていません。むしろ誉れある者が幸せであるということです。神様の価値観では、誉れは神様から与えられるものであり、富は消えて行くものであり、富と神と両方に仕えることはできないと、イエス様は言っておられます。

悪者や心の曲がった者は偽りや罰が報いであるが、義を蒔く者や正しい者は確かな賃金や救いという良いものを得ることができます。

「美しいがたしなみのない女」にならないようにしましょう。また「人を潤す者は自分も…」とあります。心が渴いていると感じているなら、それは周囲が冷たいだけでなく、自分が周囲に冷たかったのかもしれない。

26節からは、仕事に適用できるでしょう。29節からは家族や子孫に関しての価値観に適用できるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主に扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

